

鳳凰三山山行報告

【山行日】 2023年9月 2日(土)～3日(日)

晴れ後曇り

【集 合】 岩舟支所P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 14,000円

【メンバー】 CL:鈴木 SL:吉田

飯野、小林、嶋田、鈴木ナ、福島

9月2日(土) 晴れ 青木鉱泉登山口からドンドコ沢コースを登り、南精進ヶ滝や五色滝を見ながら鳳凰小屋まで登り、小屋に荷物を置いて地藏岳をピストンで登る。

岩舟支所 P3:00＝青木鉱泉 P5:40/6:05～南精進ヶ滝 7:45/7:55～白糸滝 9:20～五色滝 10:25/10:45
鳳凰小屋 11:50/12:45～地藏岳 13:40/14:30～鳳凰小屋 15:10

久しぶりに鳳凰三山のリクエストがあり、青木鉱泉からドンドコ沢を登り、中コースを下る周回コースを計画した。岩舟支所を3:00に出発し、圏央道から中央道を進み葦崎ICで降りる。葦崎市内を抜けて鈴蘭林道を走り、青木鉱泉の駐車場に着く。手前の駐車場はすでに満車で、奥の駐車場に車を止め出発の準備を整える。ここから青木鉱泉のトイレまで移動し、トイレを済ませストレッチを行ってから出発する。草地の道を進むと広い河原に出て、左岸にコンクリートの広い道が巨大な砂防堰堤まで続いている。堰堤から右の階段所の道を登り、堰堤の上に出ると平坦な道を歩いて行く。



ドンドコ沢の左岸に付けられた道を進み、支沢を渡るたびにアップダウンがあり体力を消耗する。沢を左下に見ながら登ると水音が大きくなり、最初の滝「南精進滝」が現れる。少し左に入ると滝の展望が良く、水量が豊富で豪

快な滝を見ることが出来る。休憩して滝を眺め、水分を補給して疲れた足を休める。

ここから急坂を登って樹林帯の中を進むと、鳳凰の滝の標識があるがここはパスして直進する。薄暗い樹林帯の道をジグザクに登り、急登を頑張って登ると白糸の滝の標識に出る。標識に従って左に少し下ると展望が開け、白糸の滝が白く流れ落ちる様子を見ることが出来た。

豊富で豪



さらに登ること1時間で五色滝分岐に着き、急坂を10分程下ると滝壺まで降りられる。今日のコース



一番の素晴らしい滝で、真近で見る滝の迫力に圧倒される。タカネビランジの可憐な花に癒されながら滝上の分岐まで戻り、ナシや菓子を食べてエネルギーを補給する。

ここからも樹林帯の急登が続くが、少し傾斜が緩くなりやがて開けた河原に出る。ここからは地蔵岳のオベリスクが望め、これまでの疲れが一気に消えて行く。休憩を取り冷たいゼリーや菓子を食べて、オベリスクの絶景を楽しむ。ここから沢沿いの緩やかな道を登り、やがて登山者の声が聞こえると鳳凰小屋に

着く。女性スタッフが来て「お泊りですか？」聞かれ、「そうです」と答えて宿泊の受付を済ませる。男性スタッフに宿泊棟へ案内され、食事の時間や注意事項を説明され2階の奥の上段に落ち着く。

荷物を整理したら外のベンチに移動し、お湯を沸かして昼食をいただく。昼食が済んだら部屋に戻り、地蔵岳に登る準備をして外に出る。

余分な荷物は小屋に置き、ザックを軽くして地蔵岳に向かって出発する。小屋から少し下り山頂へ延びる尾根に取り付き、シラビソの樹林帯の道をくねくねと登って行く。やがて森林限界を超えると砂地の急登となり、砂礫のグズグズの急坂を登って行く。1歩登ると半歩下がるような道で歩きにくく、精神的にも肉体的にも辛い登りが続く。しかし地蔵岳の象徴「オベリスク」がドンドン近くなり、登高意欲を後押ししてくれオベリスクの基部まで登り切った。オベリスクをバックに記念写真を撮ったら、せっかくなので皆さんはオベリスクに登ってもらおう。オベリスク直下まで登ったら、我輩が望遠でカメラに収める。皆さんが



戻ったら尾根を南に進み、お地蔵さんが並ぶ賽の河原へ移動する。あいにく西側の甲斐駒ヶ岳や北岳はガスで見えなかったが、ここからのオベリスクは全体が見え素晴らしい。ゆっくり景色を楽しんだら下山開始し、グズグズの砂礫の道を下って行く。下りは転ばないように慎重に歩くが、半歩先に進むので楽に下れた。小屋に戻ったら反省会が始まるが、小屋の前のベンチは先客で賑わっていて、入る隙間も無い。樹林の下の薄暗いベンチが空いていたので、そこに座って反省会が始まる。



皆さんと辛かった登りや、素晴らしかった五色滝、オベリスクに登れて良かったなどと話が弾む。

5時から夕食タイムになり、食堂に並んで鳳凰小屋名物のカレーをいただいた。夕食が済んだら部屋に戻り、明日の準備をしてから早めに床に就いた。

9月3日(日) 快晴 鳳凰小屋から観音岳に登り、白根三山を見ながら薬師岳まで天空のプロムナードを楽しみ、中道を下って青木鉱泉へ下山する。

鳳凰小屋 4:45～観音岳 6:15/6:40～薬師岳 7:10/7:30～御座石 8:10/8:20～林道出合 10:20/10:30

青木鉱泉P11:10/11:25＝ゆーぷる葦崎 12:10/13:00＝活鮮寿司 13:10/14:00＝岩舟支所 P17:30

朝4時に起床し出発の支度を整え、外のベンチで朝食を食ベトイレを済ませる。全員揃ったらスト



レッチを行い、予定より少し早く4時45分に出発する。ヘッドランプを点け小屋の前からドンドコ沢に下り、沢を渡って対岸に付けられたハシゴを登って尾根に取付く。いきなりの急登だが、暗い中の登りで周囲の状況が見えず道を外さないよう慎重に登って行く。30分程登ると東の空が少し明るくなり、5時30分頃に途中の尾根から日の出を迎えた。ここからほんの少し登ると稜線上に出て、赤抜沢ノ頭と観音岳の鞍部である。平らで広く

西側には仙丈ヶ岳や北岳がドーンと見え、この先の稜線歩きに期待が膨らむ。快晴の天气に恵まれ、花崗岩とハイマツの尾根を爽快に登って行く。白峰三山を見ながら奇岩の間を抜け、鳳凰三山の最高峰観音岳に着いた。山頂は狭いが360度の大展望が得られ、昨日登ったオベリスクはもちろん、甲斐駒ヶ岳から仙丈ヶ岳、白根三山、富士山等の大パノラマに皆さん大感動していた。皆さんスマホで記念写真を撮ったら山頂下に降り、朝食や菓子などを食べて薬師岳に向かう。観音岳から



薬師岳への稜線歩きは、本コース中一番の楽しいコースである。花崗岩の尾根にハイマツが彩りを添え、左手には富士山を望み右手には白峰三山を見ながら歩き、まさに天空のスカイラインを行く。皆さんも「こんな素晴らしい稜線歩きは初めてだね」と嬉しそうに話していた。起伏が少ない稜線歩きは楽しくて、アツという間に薬師岳山頂に着いた。広く平坦な山頂に岩塔が立ち並び、ハイマツとのコントラストが素晴らしく、まさにロックガーデンそのものである。山頂標識の前で記念



記念写真を撮るが、ツアーの団体さんが一人ずつ記念写真を撮るためしばらく待たされる。

ようやく順番が来て記念写真を撮ったが、白峰三山をバックに最高のロケーションである。皆さんも



スマホでお互いに写真を撮り合い、岩の上に向かって菓子を食べながら展望を楽しむ。

展望を楽しんだら下山開始し、青木鉱泉に向かって標高差1700mの大下りが始まる。

山頂から左に少し下り、ナナカマドの間を抜けると急降下が始まる。灌木帯の中の急坂を下って行き、しばらく下ると大きな岩がある御座石に着く。休憩を取って水分を補給し、さらに樹林帯の道をどんどん下る。やがて傾斜が緩くなり、明るいカラマツ林の中笹原を下るよう

になり笹原で休憩する。カレントウを食べエネルギーを補給したら出発し、笹原の道を過ぎると再び樹林帯の急坂を下るようになる。長い下りに皆さん疲れが見えてきたころ、平坦な道になりようやく

林道出た。休憩を取って疲れた足を休め、ゆっくり林道を下って行き青木鉱泉の駐車場に戻った。丁度青木鉱泉の方が駐車料金の紙を貼っていたので、車のナンバーを言って2日分の駐車料金を支払う。

靴を履き替え荷物を積んだら車に乗り、蕪崎市内の温泉ゆーぷる蕪崎に向かう。

ゆーぷる蕪崎で2日分の汗を流し、ゆっくり温泉に浸かって疲れを癒す。温泉から途中にある「活鮮寿司」で昼食を食べる。

高級回転寿司の活鮮はネタが新鮮で種類

が多く、皆さん好きな物をオーダーし満足そうに食べていた。ランチが済んだら帰路につき、蕪崎ICから中央道に入る。高速道は小仏トンネルで少し渋滞があったが、予定より早く岩舟支所に到着した。2日間晴天に恵まれ、絶景を楽しみながら稜線を歩き、皆さん大満足の山行となった。

